



週報

2016～2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 佐藤圭司 会長エレクト 宮野ふさ子 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1094 回(7 月 19 日)例会の記録

点 鐘 佐藤圭司会長
合 唱 我等の生業
第 2 副 S A A 高田君 田端君
卓話講師 子育て支援 さや マーチ
代 表 本橋真紀子様
副代表 儀保麻衣子様
メンバー 島津恵美様
ひまわり倶楽部 代表 井島美由紀様

策の必要性が叫ばれる中、河野さんは「私の寄付が大企業の寄付を促す呼び水になってくれれば」と話している。河野さんが寄付した四億円はすべて個人資産。五十年前に起業し、一代で築き上げた資産を「世の中の役に立てたい」と敏子さんに相談したところ、「寄付すればいいじゃない」と言われ、すぐに決めた。

以前から「少子高齢化がさらに進展すれば日本経済は立ちゆかなくなる」と考えており、子育て支援や出生率向上が実現できる寄付先を調べ、学習支援などに取り組む N P O への助成や食事の提供など子どもの「居場所の整備」を掲げる応援基金を知った。愛媛県今治市出身の河野さんは大学卒業後に狭山市で洋服や貴金属などの代金を月賦で払ってもらった小売店を開業。その後、建売住宅の販売などに事業転換し、今では年間売上高四百億円以上を誇る企業に成長させた。経営者として、将来の日本経済に大きな影響を与える少子高齢化に危機感を覚える。だからこそ、「子どもは国の宝」と考え、「宝を磨き、豊かな心を持った子どもに育ててほしい。子育て支援の充実が出生率向上にもつながる」と話す。河野さんが寄付先として選んだ応援基金は、官民連携で子どもの貧困対策に取り組む「子供の未来応援国民運動」の一環で、安倍晋三首相のほか日本経済団体連合会(経団連)や日本商工会議所の代表者らが発起人だ。基金は法人も寄付できるが、寄付は伸び悩み、今年三月の国会で野党から「(基金の広報にかかった)二億円を基金に入れば良かった」と批判もされた。

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35名	26名	72.73%	88.24%

会長の時間

佐藤会長



本日は、皆さまご存じの方もおられると思いますが、6月30日に東京新聞のweb サイトにて発表された、こどもの貧困対策の基金として4億円もの寄付を行った我が狭山の河野経夫さんという方についてお話させていただきます。以下の文章は、東京新聞の記事の抜粋です。

【 子どもの貧困対策を目的とした「子供の未来応援基金」に、個人として4億円もの寄付をした「第一住宅」会長の河野経夫さん(74)と敏子さん(68)夫妻=狭山市在住。同基金は政府や経済団体の肝いりで昨年10月に創設されたが、寄付金額は伸び悩んでいた。子育て支援や少子化対

今回の河野さんの寄付で、基金の寄付総額は約六億円となる。河野さんは「経団連に所属するような大企業が本気になれば、年間数十億円ぐらい集まってもおかしくない。日本の将来を考えて、積極的に寄付してほしい」と話している。】

以上のように、世の中が「こどもの未来応援基金」や、「子育て支援の充実」が出生率向上にもつながることに注目した内容は、我々が今年取り組もうとしている「地域に根付いたロータリー ～足元を見つめよう～」というテーマと奇しくも一致した事柄で、本当にタイムリーなニュースであり、私もびっくりしました。

それも我が町狭山に、河野経夫さんのような人がいたことも、また驚きました。できれば、みなさまの中に河野さんとお知り合いの方がいらっしゃれば、ぜひとも外来卓話にお呼びしてお話を伺いたいものだなと思いました。

また今日はこの後に、狭山の子供たちの環境や現実問題を、外来卓話にお呼びしている二つのボランティア団体にお話しいただき、みなさまにも関心を持ってもらい、共に勉強していきたいと思えます。こどもの子育て問題やこどもの貧困、こども食堂に世間の関心がこのように高まってきており、一般の方々が動きだしております。この流れに乗って、ロータリーも牽引役として引っ張っていくことが、支援の輪が広がる大きなチャンスにつながります。このことにより、「ロータリーとはなんぞや」我々が心の中でいつも自問自答し、苦悩している事が、実際に行動を起こすこと、そして支援をすることにより、答えとしてはっきり見えてくるかもしれません。

この時期を逃さないためにも、皆さまの協力が必要不可欠になります。どうか一致団結して頑張っていきましょう。

幹事報告

益子幹事

1. 例会変更 飯能 RC 入間南 RC 所沢西 RC
2. 受贈会報 入間 RC 入間南 RC 所沢西 RC
3. 回覧物 ロータリーコーディネーニュース 8月号
ハイライトよねやま 196号

宮野会長エレクト挨拶

皆様こんにちは、佐藤年度になって初めて例会に出席いたしました。熱中症から夏風邪をこじらせて声が出なくなり、やっと昨日位から声が出るようになりました。



本日は例会に出席されている会員26名の中で私より先に入会された方が10名おりまして、その中で会長を経験されている方は8名、経験されていない方が2名おります。まだ、経験されていない方は何かと諸事情がありお受けされなかったのかと思います。

私に前年度後半会長エレクトのお話があり、栗原(成)パスト会長に何度も説得され、また何人の方にも勧められ何日も何日も考えました。今までの狭山中央ロータリーの鳥瞰図を観て、そろそろ私もエレクトをお受けしなければならないのかと思ひ考え考えて不本意ながらも、エレクトをお受けさせていただきました。

エレクトとして、次の会長として、まだ、具体的には何も思い浮かばないのですが一年間の内に考えて自分の出来る事を精一杯頑張っていこうかと思っておりますのでどうかよろしく願い致します。

委員会報告

R情報・雑誌

東委員長

7月号…ご覧になって気が付かれたかと思いますが、冊子がA4サイズになりました。

「横書き」20頁：各地区のガバナーの横顔と家族の紹介

59頁：各地区の分布図、クラブ数、会員数、出席率が紹介されています。

クラブの会員の中で「友」に投稿された方はいらっしゃいますか？…いらっしゃるようですね。それを聞いて私は嬉しく思います、これからもよろしく願い致します。

「縦書き」13~15頁：左上にわがまちの味の紹介がされています。60頁に「わがまちの味」ご紹介下さい。とありますので狭山の郷土料理などを投

稿出来たらいいと思います。

20頁：ロータリーネットワークには写真が掲載されていますが、クラブでも色々とこれから予定されていますが奉仕活動、子育て支援さやマーチ・ひまわり倶楽部などの活動を写真やコメントなどは是非投稿できたらいいなと思います。

今年度委員長をお受けしましたが、会員皆様が積極的に投稿できたらいいなと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

「外来卓話」・・・・・・・・

子育て支援 さや マーチ
代表 本橋真紀子様



副代表 儀保麻衣子様 メンバー 島津恵美様

今日は、ご挨拶させていただきましたように、3人でお伺いさせていただきました。どうぞよろしくお願い致します。

まず、はじめに産後ケアという単語の解説を日本の母子保健システムと合わせてご説明させていただきます。

日本における周産期医療の発展はめざましく、妊娠、出産までの期間は母体である母親も含めてケアの対象となって十分なケアを受ける事ができています。

安全に出産できる国として世界でも日本は高く評価されていますが出産を機にケアの対象が母親ではなく、子供となり乳児を抱えた母親には十分な支援がなされていない現状であります。概ね体が元に戻る期間一年間を産後と言われてい

産後ケア不足が10人に一人が産後うつ、虐待死する0歳児の割合が43%、離婚する夫婦の30%が産後2年以内、メディアでも最近いわれております産後クライシスと言う様々な問題を引き起こすきっかけになっています。十分な支援、産後ケアとはどんなことかと言いますと体力や筋力、産後母体が回復する期間や休息が取れるように促す事が出来るようにサポートを受けられるようにと考えております。

さやマーチのメンバーは全員が乳幼児を持つ母親で、私たちほとんどが狭山市民大学の終了生です。メンバーの中には看護師や教員もいて産後ケアだけでなく、母のヘルスケアや子供の健全な育成についても関心があります。

事業の詳細として先程説明させていただきました産後の問題を解決するべく啓発活動や体験会を行いその体験会を通して保育ボランティア団体と交流が出来、その関係が地域でも生かす事が出来てそういう形でつながっています。

具体的な活動の様子として、産後ケアの体験としてはバランスボールを持ち、有酸素運動を行い低下した筋力を回復させるきっかけをつくります。

また、2～3人のグループになり、赤ちゃんの話だけではなく母になった自分を主語にしたコミュニケーションワーク、その間、同室の赤ちゃん別室の子供はボランティアの方がみていて遊んでくれますので皆さんは安心して参加できます。

平成27年度は延べ106人の方に参加していただきました。主に活動している元気プラザでは併設しているカフェがありますので、エクササイズの後にはランチ交流会の時間を持つことができます。

事業のつながりの一つとして、西武文理大学の看護学科で行った時は自分たちよりも若い世代の方との世代間交流を図る事が出来、自分たちだけの活動だけではなく狭山の大きな子育てネットワークがありますが、その祭りのスタッフとして参加して交流が来ています。

二つ目の事業の特徴としては、実家が遠く核家族だけで奮闘している世帯が多く、横の世代、縦の世代とのつながりもできにくく孤立してしまおうという現状ですが誘いあって孤立しない

ような形が地域で生活する事につながっています。

補助金の使途の詳細は産後ケア体験会の実施における運営に充てさせていただきたいと思っています。その期待される効果としては産後ケアがきっかけとなり自分の住む地域で交流を深め孤立しないで安心して子育てをする環境づくりが出来ます。参加者自らが地域福祉の担い手として意識の向上が図れ、精神的な取り組みとして狭山市が子育てしやすい市としてPRができると思っています。このような私たちの活動が評価されて平成27年3/1付けの朝日新聞・埼玉版に特集記事が掲載されました。今日はこのような時間を設けていただきましてありがとうございます。

ひまわり倶楽部 代表 井島美由紀様



こんにちは！ひまわり倶楽部から参りました。今日はこのようなお時間を頂きまして心から感謝申し上げます。ひまわり倶楽部は(ひまわり食堂)こども食堂を通じて子供の貧困問題、支援をしていくという団体です。

初めに私がなぜこの活動を始めたかと言いますと私は狭山市社会福祉協議会の職員です。この仕事の中で貸付制度がありそこを担当しております。

色々ある中で若い方が就職活動をしている中で、その就職するまでの貸付の支援をしています、非常に多くの若い人が相談に参ります。

雇用の問題、職が少ないこともあります。一度離職しますと次の職が決まらなくここに支援を求めてきます。若い人達は決して怠け者ではありませんが話ながらよくよく考えますと、その方々の成育歴や育った環境が非常に共通していることがわかりました。生育期に培うものや受けるものが影響して人生そのものを変えていくのかと感じました。

今日はこども食堂を通して未来の子供について

の支援が出来れば良いなと言うところから始まりお話しさせていただきたいと思います。

ひまわり倶楽部は平成28年4月1日に発足しました。メンバーは狭山市社協職員有志を中心に市内の福祉施設の職員やボランティア団体の方々など20名が集まり子供の貧困問題について話し合いました。元々東日本震災の時に福島へ行ったり来たりしたボランティア活動のメンバーでしたので子供支援をどうやって解決していくかと言うことが課題でしたがスムーズに話が進みました。

子供達の貧困問題について何かしら感じているが、具体的にどう困っていて、どこに必要なとする子供達がいるのか？どうしたらそのこども達に合えるのか？デリケートな問題であり慎重な活動が必要であると感じています。

☆活動にあたっての方針☆

…資料から抜粋…

- ・お楽しみのイベントにとどまらず、参加者の情報を確認し、適切な対応をしていく。
- ・多くの住民の方々を対象とし、その中に本当に必要な子供が一人でもいれば良いという考えかた。
- ・本来必要な子供が参加しやすいように**全て無料**とする。
- ・本来必要としている子供に配慮し、いじめの原因などにならないように配慮する。
- ・学習支援ということで行い、勉強の後に食事を提供していくという事を考えました。

☆ひまわり倶楽部の活動☆

- ・ひまわり食堂(こども食堂)

市内各所で子供達に**無料**で食事を提供します。

初めてリクエストを頂いたメニューの肉じゃがは大変喜ばれました。



家庭の味を味わってもらいたい、そんな思いの詰まった手料理です。こども食堂の開催により、お腹を空かしている子供がお腹いっぱい満たしてもらうことが出来る。また、子供たちの精神的なフォローや、**心配している大人がいることを知ってもらうこと**で成長の過程での良い影響となることを目標としています。

・さんふらわあ（こどもフードバンク）

フードバンクとは食べ物をためておくシステムでフードドライブとはその食べ物を集めストックしておきます、それらを実施しひまわり食堂の食材の確保をしております。

ひまわり祭りやイベントに出店したり、そこで販売したりして得たものが少しだけですが、子供たちの食事の資金繰りになっております。しかし、無料で食事を提供する事はその他の経費もかかりますので、このようにお話しをしたりして助成をしていただくことは私たちの励みになります。他の団体でもこのような企画をしているところもあり、有料にしている団体も沢山ありますが、優良にしたことで本来必要としている子供たちがこぼれ落ちてしまうのではないかと考えています、必要な子供たちにしっかりと食事をしてもらいたいのでこのような無料で提供するという方針を立てております。

・講演会などの企画・運営

子供たちを取り巻く現状などを多くの方に知っていただき、周りの大人たちで支える社会になるよう啓発・啓蒙を行います。

この機会をきっかけに地域の貧困ということを身近で聞いたり困っているということがありましたら是非ご報告頂ければと思っております。

今日はご清聴ありがとうございました。

～私たちの想い～

こんなに豊かな日本なのに・・・
お腹が空いて困っている子供がいます。
事情は様々です。

母子家庭でお母さんが忙しい家庭の子
なんとなく家に帰りたくない子
両親が病気などで、働けない家庭の子

誰が悪いわけでもないのに・・・
みんなお腹を空かせてます。
我慢しています。

そんな子供のお腹に少しでも満たしてもらえ
るようにと。
私たちは、活動を開始しました。



佐藤君 なかなか明けない梅雨にやきもきする日が続きますね。本日の外来卓話、さやマーチ代表の本橋様と儀保様、そしてひまわり倶楽部代表井島様、ようこそいらっしゃいました。我々狭山中央ロータリークラブに新鮮な風を、共に起こしましょう。本日は本当にありがとうございました。

益子君 さやマーチ・ひまわり倶楽部の皆様、卓話が楽しみです。当ロータリークラブも何かお手伝い出来るように頑張ります。

江原君 さやマーチの本橋様、儀保様、また、ひまわり倶楽部の井島様、本日は暑い中そしてお忙しい中、ようこそお出で下さいました。宜しくお願い致します。

小島君 ひまわり倶楽部代表、井島様、さやマーチ代表本橋様、副代表儀保様ようこそおいでいただきました。お話し楽しみにしていました。

宮野君 「さやマーチ様、ひまわり倶楽部様」ようこそお出で下さいました。
2回続けて欠席してしまいました。熱中症から風邪をこじらせました。

